

# 復興へ向けて

## One for All, All for One

中同協東日本大震災復興  
対策本部ニュース No. 5

発行日：2011年4月15日

発行：中小企業家同友会全国協議会（中同協）

### 自ら地域の未来を創造するために～岩手、宮城、茨城を訪問して

中同協事務局長 松井清充

中同協では先月から今月にかけて松井事務局長を被災地に派遣し、現地を励ましました。以下、そのレポートです。

まず3月24日、新潟から山形を経由し、宮城同友会への支援物資を運ぶトラックで仙台入り。事務局では物資支援から営業再開支援に取り組みを変更していくことを確認。仙台市内海沿いの、津波で生死を分けた状況を目の当たりにしました。

4月5日には岩手同友会に秋田経由で入り、理事会と第1回の盛岡例会に参加。現地で必要とされるものを我々の手でつくりだそうとの意気込みが感じられる例会でした。

4月7日には茨城同友会事務局で現状を聞くとともに、激励を兼ねて訪問。大洗港に面したひたちなか市の衣服販売店に伺いました。津波の次は液状化で店が傾くなどの被害が出ているものの、被災した方々の交流の場になっています。

4月22～23日には福島から相馬地方へ行く予定です。

これらの訪問を通じて、同友会の全国の連帯の力、役員と事務局の連携が決定的役割を果たすことが確認できました。また、訪問した現地の明るさにエネルギーがもらえるほど、会員の皆さんの復興へ元気があふれていました。



### 全国の励ましで復興へ

#### 義援金

4月15日現在  
215,301,087円

\* 中同協に振り込まれている額

<被災地への送金額>

岩手、宮城、福島に5回にわたり送金し、これまでに1同友会あたり5000万円、合計1億5000万円を送っています。今後は状況を見て送金予定です。

#### 支援物資

##### 中古パソコンを送ろう！

中同協では生活支援物資から経営支援物資に切り替えて被災地へお送りしようと各同友会に呼び掛けています。

特に中古パソコンやプリンター、自転車、バイクなどをお願いしており、青森、秋田、愛知、兵庫などの同友会からは自転車が送られました。

中古パソコン（WindowsXP以降）やプリンターをお送りいただける会員のみなさまは、ご所属の同友会事務局にご一報ください。

#### 被災地から【岩手、宮城、福島】

岩手、宮城で田中・兵庫同友会代表理事が講演

1995年1月、阪神大震災で大都市・神戸は壊滅的な被害をこうむりました。その被災から16年、「大震災で同友会の理念がいかに素晴らしいかが検証された。それを全国の仲間に伝えよう」と、兵庫同友会では復興にあたっての教訓をまとめています。今回大きな被害のあった同友会には、その教訓を伝えようと理事会で確認。

岩手（5/26）、宮城同友会（5/27）では、総会の記念講演講師に田中・兵庫同友会代表理事を迎えます。田中さんからは、阪神大震災の教訓をもとに復興へ向けた熱いメッセージが贈られる予定です。

#### 福島の総会に鋤柄中同協会長と広浜幹事長

福島第一原発の事故に関して国際評価尺度の「レベル7」が発表される中、中小企業の方で地域の展望を創出しようと、福島同友会では5月18日に予定通り総会を開催します。

今回の総会を震災復興へ向けて、全会員が心を一にする場と位置づけており、中同協の鋤柄会長、広浜幹事長が激励にかけつけ、被災地への全国の連帯のネットワークの輪による支援をしていくことを伝えます。